

国語

(問題)

2016年度

〈H28102012〉

注意事項

- 1 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
- 2 問題は2～11ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
- 3 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
- 4 マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) マーク欄にははつきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残さないようによく消すこと。

マークする時	● 良い	○ 悪い
マークを消す時	○ 良い	● 悪い

5 記述解答用紙記入上の注意

- (1) 記述解答用紙の所定欄(2カ所)に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
- (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を書いてはならない。
- (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数字見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (4) 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

(例)

3825番

↓

万	千	百	十	一
	3	8	2	5

- 6 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
- 7 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
- 8 いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

一 次の文章は『源氏物語』の一節である。鬚黒大將は光源氏の養女である玉鬘に通い始め、鬚黒大將の北の方はそれを悲しんでいる。これは鬚黒大將がこれから玉鬘のもとへ行こうとしている場面である。これを読んで、あとの問に答えよ。

暮れぬれば、心も空に浮きたちて、いかで出でなと思ほすに、雪かきたれて降る。かかる空にふり出でむも、人目いとほしう、この御気色も、憎げにふすべ恨みなどし給はば、なかなかことつけて、我もむかへ火つくりてあるべきを、いとおいらかにつれなうもてなしたまへるさまの、いと心苦しければ、いかにせむと思ひ乱れつつ、格子などもさながら、端近ううながめてゐたまへり。北の方気色を見て、「あやにくなる雪を、いかで分け給はんとすらむ。夜も更けぬめりや」とそそのかし給ふ。今は限り、とどむともと思ひめぐらし給へる気色、いとあはれなり。」「かかるには、いかでか」とのたまふものから、「なほこのころばかり。心のほどを知らず、とかく人の言ひなし、大臣たちも左右に聞き思さんことをはばかりてなん、とだえあらむはいとほしき。思ひしづめてなほ見はて給へ。ここになど渡しては、心やすくはべりなむ。かく世の常なる御気色見えたまふ時は、外さまに分くる心も失せて

A

、あはれに思ひきこゆる」など語らひたまへば、「立ちとまりたまひても、御心の外ならんは、なかなか苦しうこそあるべけれ。よそにても、思ひだにおこせたまはば、袖の水もとけなかし」など、なごやかに言ひあたまへり。

御火取^ま召して、いよいよたきしめさせたまつりたまふ。みづからは、なえたる御衣^ぎどもに、うちとけたる御姿、いとど細うか弱げなり。しめりておはする、いと心苦し。御目のいたう泣き腫れたるぞ、少しものしけれど、いとあはれと見る時は、罪なう思ひて、いかで過ぐしつる年月ぞと、なごりなうつるふ心のいと軽きぞやと思ふ思ふ、なほ心げさうは進みて、そら嘆きをうちしつつ、なほ装束したまひて、小さき火取とり寄せて、袖にひき入れてしめあたまへり。

侍所に人々声して、「雪少し隙あり。夜は更けぬらんかし」など、さすがにまほにはあらで、そそのかしきこえて、声づくりあへり。中將、木工^まなど、「あはれの世や」などうち嘆きつつ、語らひて臥したるに、正身^{さうしん}はいみじう思ひしづめて、らうたげに寄り臥したまへり、と見るほどに、にはかに起き上がりて、大きな籠の下なりつる火取をとり寄せて、殿のうしろに寄りて、さといかけたまふほど、人のやや見あふるほどもなう、あさましきに、あきれてものしたまふ。さるこまかなる灰の、目鼻にも入りて、おほはれてものもおぼえず。払ひ捨てたまへど、立ち満ちたれば、御衣ども脱ぎたまひつ。うつし心にてかくしたまふぞと思はば、またかへり見すべくもあらずあさましけれど、例の御物の怪の、人にうとませむとする事と、御前なる人々も

B

見たてまつる。立ち騒ぎて、御衣ども奉り換へなどすれど、そこらの灰の、鬘^{びん}のわたりにも立ちのぼり、よろづの所に満ちたる心地すれば、きよらを尽したまふわりに、さながらまうで給ふべきにもあらず。心違ひとは言ひながら、なほめづらしう見知らぬ人の御有様なりやと爪はじさせられ、うとましようなりて、あはれと思ひつる心も残らねど、このころ荒だてては、いみじきこと出で来なむと思ししづめて、夜半になりぬれど、僧など召して加持まゐり騒ぐ。

(注1) 御火取：衣服に香をたきしめるための香炉。

(注2) 中將、木工：女房たちの名。

問一ノ一 傍線部1「いとおいらかにつれなうもてなしたまへるさまの、いと心苦しければ」の解釈として最も適切なものを、次の中から一つ選び、答一ノ一の欄にマークせよ。

A：とてもものんびりして気にしないふうで、誠に愛くるしいご様子なので

I：とても大人びて薄情なご様子が、大変心にかかって苦しく思われるので

ウ：非常に老成していてさりげない返答のご様子が、とてもつらく思われるので

E：大変おっとりとして平静にいらつしやるご様子が、誠に不憫に思われるので

オ：誠に平静で無表情なご様子で、こちらのほうがひどく気を遣ってしまうので

問一ノ二 傍線部2「かかるには、いかでか」は誰の言葉か。最も適切なものを、次の中から一つ選び、答一ノ二の欄にマークせよ。

A：鬚黒大將 I：北の方 ウ：大臣たち E：玉鬘 オ：女房たち

問一ノ三 空欄Aに入る最も適切な語句を、次の中から一つ選び、答一ノ三の欄にマークせよ。

A：なほ I：やは ウ：だに E：なん オ：こそ

問一ノ四 傍線部3「よそにても、思ひだにおこせたまはば、袖の水もとけなかし」の解釈として最も適切なものを、次の中から一つ選び、答一ノ四の欄にマークせよ。

A：離れた世界にいても、お互いに夫婦の愛情さえあれば、このように嘆くこともなくなることでしよう。

I：離れていても、あなたが子供達のことさえ心配してくださるなら、私が嘆いて流す袖の涙の水もとけるでしょう。

ウ：あなたのことをよその方が思っているのなら、あなたが嘆いて流す袖の涙の水もとけることでしようね。

E：あなたがよそながらでも、玉鬘のことさえ大切に思っておられるなら、玉鬘が嘆いている袖の涙の水もとけるに違いありません。

オ：あなたがよそにいらつしやっても、せめて私のことを思い出してくださいさるなら、私が嘆いて流す袖の涙の水もとけることでしよう。

問一ノ五 傍線部 a、e の主語はそれぞれ誰か。主語の組み合わせとして最も適切なものを、次の中から一つ選び、答一ノ五の欄にマークせよ。

- ア… a 北の方 b 鬚黒大将 c 女房たち d 北の方 e 鬚黒大将
イ… a 鬚黒大将 b 北の方 c 鬚黒大将 d 女房たち e 北の方
ウ… a 北の方 b 女房たち c 鬚黒大将 d 北の方 e 鬚黒大将
エ… a 鬚黒大将 b 女房たち c 鬚黒大将 d 鬚黒大将 e 北の方
オ… a 北の方 b 鬚黒大将 c 北の方 d 鬚黒大将 e 鬚黒大将

問一ノ六 傍線部 4「きこえ」は、誰への敬意をあらわす語か。最も適切なものを、次の中から一つ選び、答一ノ六の欄にマークせよ。

- ア… 鬚黒大将 イ… 北の方 ウ… 大臣たち エ… 玉鬘 オ… 人々

問一ノ七 空欄 B に入る最も適切な語句を、次の中から一つ選び、答一ノ七の欄にマークせよ。

- ア… あさましう イ… いとほしう ウ… うとましう エ… なごりなう オ… つれなう

問一ノ八 本文の内容と合致するものを次の中から一つ選び、答一ノ八の欄にマークせよ。

- ア… 鬚黒大将は雪がひどいので、玉鬘のもとに出かけるかどうかを迷っていた。
イ… 北の方は鬚黒大将の裏切りを非難し、怒りのあまり灰を鬚黒大将に浴びせた。
ウ… 北の方の女房たちは、失敗したふりをして火取りの灰を鬚黒大将に浴びせた。
エ… 北の方は物の怪のせいで感情を抑えられなくなり、常軌を逸する行動に出た。
オ… 鬚黒大将は、北の方が物の怪のふりをして灰を浴びせたのではないかと疑った。

二 次の漢文を読んで、あとの問に答えよ（返り点、送り仮名を省いた部分がある）。

長沮・桀溺耦而耕。孔子過之。使子路問津焉。長沮曰、夫執輿者爲誰。子路曰、爲孔丘。曰、是魯孔丘與。對曰、是也。曰、是知津矣。問於桀溺。桀溺曰、子爲誰。曰、爲仲由。曰、是魯孔丘之徒與。對曰、然。曰、滔滔者、天下皆是也。而誰以易之。且而與其從辟人之士也、豈若從辟世之士哉。耰而不輟。子路行以告。夫子憮然曰、鳥獸不可與同羣也。吾非斯人之徒與而誰與。天下有道、丘不與易也。

（注）長沮・桀溺：隱者

耦：並んで耕す

輿：くつわ

耰：種を覆う

（『論語集註』より）

問二ノ一 長沮が傍線部1のように述べた理由として、最も適切なものを、次の中から一つ選び、答二ノ一の欄にマークせよ。

ア…川の渡し場に象徴されるような、人生の重要性をあちらこちらで説いている人だから。
イ…人君の師として政治をも教える人なので、渡し場の場所ぐらい知っているはずだから。
ウ…馬車の手綱を持ち待っている姿が、人生の指導者としての尊厳に満ち溢れていたから。
エ…博学で有名な人なので、何でも知らないことはなく、地理にも精通している人だから。
オ…人を避けてばかりいて、あちらこちらに行っており、道をよく知っているはずだから。

問二ノ二 傍線部2「而」と同じ意味として用いられている文字を含む文を、次の中から一つ選び、答二ノ二の欄にマークせよ。

ア…子曰、參乎、吾道一以貫之。
イ…子曰、学而不思則罔。思而不学則殆。
ウ…子曰、学而時習之、不亦説乎。
エ…子曰、由、誨女知之乎。
オ…子在川上曰、逝者如斯夫。不舍昼夜。

問二ノ三 傍線部3の書き下し文として、最も適切なものを、次の中から一つ選び、答二ノ三の欄にマークせよ。

ア…豈に世を辟くるの士に従ふに若かんや。
イ…豈に従ふ辟世の士の若きや。
ウ…豈に世を辟くるの士より若かんことあらんや。
エ…豈に世を辟くるの士に従ふが若きか。
オ…豈に若し世を辟けんの士に従はんや。

問二ノ四 傍線部4と反対の概念として用いているものとして、最も適切なものを、次の中から一つ選び、答二ノ四の欄にマークせよ。

ア…桀溺 イ…孔子 ウ…斯人 エ…子路 オ…長沮

問二ノ五 本文で二重線を付けた「与」と異なった使い方の「与」を含む文として、最も適切なものを、次の中から一つ選び、答二ノ五の欄にマークせよ。

ア…子曰、道不行、乘桴浮于海。從我者其由与。
イ…子曰、吾不与祭、如不祭。
ウ…子謂顔淵曰、用之則行、舍之則蔵。唯我与爾有是夫。
エ…子路曰、子行三軍、則誰与。
オ…太宰問於子貢曰、夫子聖者与。

三 次の文章を読んで、あとの問に答えよ。

学校の規律は、生産の規律と結びついている。決められた時間割のなかで授業を受け、「勤勉」の道徳を身につける。それは、資本主義的労働に不可欠である。資本主義システムにおける労働は、決められた時間内で、どれだけ商品を生産できるかにかかっており、そのためには、労働者は効率よく働くことが求められる。それは、誰にでもすぐにできるような行為ではない。そこで、まず資本主義的生産に従事できるように、学校で子どもを訓練するのである。学校においても、企業においても、一定の成果が上がるまで努力を怠らないことが要求される。また、成果は一定の期間内で上げなければならない。限定された期間内で、要求された成果を上げることが、資本主義的生産における時間原則である。

これに対して生産者は、消費者ができるだけ早く、大量に消費することを望む。クレジット、ローンが発達したのも、消費者が欲しい商品をすぐに手に入れることができるようにするためである。これは、明確に定められた期限までに成果を上げる、生産における時間原則とは異なる。生産においては、未来に目標がおかれているため、未来は現在から直線的に拡がっている。ところが消費においては、未来を現在に引き寄せ、未来を現実のなかに実現させてしまう。

この場合、未来を現在に引き寄せるという消費の時間原則だけに縛られやすい。なぜなら、職業に従事している者、いわゆる「おとな」とは異なり、子どもは純粋な消費者だからである。子どもは、消費社会における理想的な行為主体であるといってもよい。労働者は生産に関わっているのに対して、子どもは生産には関わることがない。あるいは、子どもはおとなのなかでも、失業者や非正規労働者に近い存在であるといってもよい。彼らは失業しても、消費はせざるをえないからである。バウマン^(注1)は、非正規労働者のように標準的な消費ができない者を「不完全な消費者」と呼ぶが、非正規労働者だけではなく、子どものように生産と直接関わらない存在の方が、より完全な消費者に近づくのである。

また、ゲームセンターやカラオケボックスでは、子どももおとな同様のコキヤク^Aとして扱われる。こうした消費の場は、匿名性を保証する。個人であれ、少人数の集団であれ、消費の場所は原則として、そこに参入しようとする者の社会的な存在証明を要求しない。また、どのような社会的地位にいるかも問題にしない。商品の購入に必要な金銭を持っていれば、消費の場所に参入できるし、ウィンドーショッピングということばに示されるように、買うつもりがなくとも消費の場所に立ち入ることは可能である。

消費の時間原則だけに縛られるようになると、「現在」においてすぐに欲望を実現できない場合、暴力を用いても、その欲望をかなえようとする。それが、いじめにつながるのである。それでは、なぜ暴力の被害者が自殺してしまうのか。この点を理解するために、消費社会について考えてみよう。

高度消費社会では、消費と消費を成立させている文化が、人間の生存において不可欠なものとなる。しばしば「サブカルチャー」などと呼ばれる文化現象は、けっしてサブ^B副次的なものではなく、消費社会には欠かすことができない。

消費文化を支える価値を考えるうえで、「かわいい」という形容詞に特に着目する必要がある。というのは、かわいいという形容詞が、日本に限らず、高度消費社会一般を理解するうえで重要なことばだからである。それは、「新しい」「きれい」に続く、消費社会の美意識を構成する三つめの判断軸となる。

かわいいの大きな特徴は、「キモかわいい」「ブスカawaii」のように、反対の意味をもつことを包含していく点である。かわいいには、反対語が存在しないのである。そして、反対語がないかわいいはあらゆるヒト、モノの形容詞になりうる。

しかし同時に、かわいいと言発するだけで、あらゆる批判の可能性は絶たれ、かわいいということばが構築する磁場のなかで微笑まざるをえないような状況をつくり出す。この点で、かわいいは一見無垢に見えながら、そうであるがゆえの権力効果を発揮する。事実、反対語が存在しないのは、かわいいということばが、

甲

があることを示している。恣意的に選ばれたかわいいものは、それが恣意的な選択であったかどうかという疑問を付されることなく、かわいいものとして認証される。それによって、あらゆる暴力的抵抗を封印しているようにみえる。

初めて本格的に「かわいい」を論じた四方田犬彦は、『「かわいい」論』の最後で、ポーランドのオシュフェンチム^(注2)の強制収容所の部屋の壁に、「かわいい」「二匹の子猫や子どもたちの絵が描かれている点に注目する。四方田はこの絵を、「それ（残虐行為）が、円滑に進行するように、加害者の側からその無垢にして純真な似姿を犠牲者にむけて差し出」しているのだという。四方田の指摘は、かわいいが孕む権力を剔出し^(注3)ている。

少なくとも、かわいいということばがある種の麻酔効果を及ぼすことだけは、たしかである。それは、時間感覚を麻痺させる。それは、未来への希望をもつことを封印する。四方田が言うように、かわいい子猫や子どもたちの絵が麻酔効果を及ぼし、強制収容所では未来への希望をもつことを断念させられるのかもしれない。死を待っただけの未来そのものが、畏怖の対象となるのである。

しかし、かわいいものの奥底には不気味な力が潜んでいることを強調するだけでは、かわいいという形容詞が現代社会においてもつ意味を十分にとらえたとはいえない。かわいいは、「キモかわいい」や「ブスカawaii」、また「カッコかわいい」「カッコいいけどかわいい」のように、あらゆるものをかわいいという磁場のなかに取り込むことで、多様性を包摂する方向性に向かうこともあるからである。子猫や子どもだけではなく、ライオンや高齢者もかわいい。いかなるものであっても、かわいいと評価される可能性はあるのである。「かわいいの下における平等」が存在するといってもいい。一見取るに足らぬものでさえ、かわいいものになりうるのである。フランス語版ウィキペディアでは、行政や自衛隊のポスターにまで、アニメのキャラクターのようなかわいい表現が見られる点について、奇妙な現象であると書かれている。

かわいいということばは、女子若年層がヒンパン^Bに利用し、広まっていったものである。仮に、かわいいが多様性を包摂する論理を内包し、国家組織の内部にまでそれが浸透しつつあるとすれば、それは、知識人や国家などがち出してくる「共生」のような価値とは、その性格を異にしている。

かわいいという形容詞は、消費社会の進展とともに浸透している。ジャン・ボードリヤール^(注3)は、消費社会において商品が欲求を満たすものではなく、記号と化してしまう点を指摘した。商品は記号体系を構成するだけであり、商品の現実的な実体や特性はもはや存在しない。消費社会は自動的に、現実を参照することのない記号体系のなかで、新たな商品記号を生み続ける。消費者が消費するのは、現実からかけ離れた記号にすぎないのである。これは一見わかりにくい議論であるが、ハローキティのキャラクターグッズはその典型であろう。消費者は、次から次へと生み出さ

れるキティグッズⅡ記号を消費するのである。

ただし、記号の消費といっても、まったく無意味なものをわざわざ消費するはずがない。記号を読み取るコードが、消費には必要なのである。また、消費はさまざまな「文化」と結びついている。この文化は国民国家と結びついていないため、国境を越えて至るところに拡がる。消費行動のための文化コードは、国家とはまったく別のところで生成しているのである。したがって、ある国家に固有の規範を身につけていなくとも、消費文化のコードは体得可能であるし、また消費社会を生き抜くためにはそれは不可欠でさえある。つまり、消費はより深く人間の実存に関わっている。いかに消費するべきかという問いは、いかに生きるべきかという問いに直結するのである。商品の記号体系が構築されていくなかで、しだいに

乙

であったかわいいが、記号体系を支えるコードとなり、消費社会そのものを確立させていったのである。

かわいいは、商品としてのモノとヒトの関係を構築しながら、秩序を生み出す。しかし、このかわいい秩序は、すべての秩序維持がそうであるように、暴力の噴出を押さえ込んでいる。「かわいいがる」には、暴力を行使するという意味がある。また、「ブスカawaii」や「キモかわいい」から「かわい」を取り去れば、「ブス」「キモ（い）」だけが残る。こうしたことばがいじめにおいてしばしば使われることは、よく知られている。学校も、地域も、かわいい秩序を徹底すれば、暴力は封印されるであろう。教室をハローキティで飾ることを推奨すれば、いじめはなくなるかもしれない。しかし、学校の規律は別の価値に基づいている。スポーツなどのクラブ活動や運動会などの行事は、いずれもかわいさではなく、身体の鍛錬を通じて管理されている。また、授業や試験も同じように、身体の鍛錬を必要としており、それは生産の規律と結びついている。

中学生は、生産と消費という二つの異なる論理のあいだで揺れ動き、それが暴力を誘う。いじめ集団は、一方では消費に強い関心を示し、仲間内の特定の者から金銭を奪ってでも消費空間に参入しようとする。他方で、単独で特権的に消費しているようにみえる者を、学校の論理に基づいて「処罰」しようとする。

脱中心化する風景も同様に、生産と消費の二つの論理に分裂した世界の様相を映し出す。学校や工場のように生産の論理に基づく場所と、ゲームセンターやロードサイド店舗など消費の場所が混在しているからである。ただし、こうした風景のなかで、しだいに消費の場所の方が空間的に拡大していく。また、脱中心化する風景では、自然素材から成る風景のなかに、合成素材の空間記号が浸食していく。これは、自然素材の生命の世界に合成素材でできた壊れにくい世界が拡大していくことである。生命の流動性がしだいに感じられなくなり、消費空間における時間感覚を麻痺させる疑似ユートピアが拡がっていくのである。

消費空間は、死を感じさせない。死が感じられない世界で、生物と無生物の区別もあいまいになる。かわいいということばは、モノもヒトも形容できる。「遊び感覚」で暴行できるのは、その相手をほとんどモノとしかとらえないからである。また、暴行がいかなる結果を生むかということに、考慮が至らないからである。いじめが起る集団の成員は、死への感覚が麻痺してしまっているのである。

（荻野昌弘「開発空間の暴力」より）

（注1） バウマン：ポーランド出身の社会学者。

（注2） オシュフエンチム：ポーランド南部の都市で、ドイツ語名はアウシュヴィッツ。

（注3） ジャン・ボードリヤール：フランスの思想家、社会学者。

問三ノ一 傍線部1「完全な消費者」とあるが、その説明として最も適切なものを、次の中から一つ選び、答三ノ一の欄にマークせよ。

- ア…決められた時間割のなかで授業を受け、勤勉に消費するよう訓練された者。
イ…一定の成果が上がるまで努力を怠らず、限定された期間内で大量に消費する者。
ウ…クレジットやローンを駆使し、欲しい商品を早く大量に獲得しようとする者。
エ…未来を現在に引き寄せるという時間原則だけに縛られ、暴力を用いて欲望をかなえる者。
オ…自らは職業に従事せず、手に入れることのできた金銭を行使する者。

問三ノ二 傍線部A・Bにあてはまる漢字を、記述解答用紙の答三ノ二の欄に楷書で記せ。

問三ノ三 空欄甲に入る表現として最も適切なものを、次の中から一つ選び、答三ノ三の欄にマークせよ。

- ア…消費社会に欠かせない美を生む効果
イ…反対する者を圧殺する効果
ウ…あらゆる対立軸を無にする効果
エ…それが生む微笑の起源を忘却させる効果
オ…残虐性と無垢とを結びつける効果

問三ノ四 傍線部2「かわいいが多様性を包摂する論理を内包し、国家組織の内部にまでそれが浸透しつつあるとすれば、それは、知識人や国家などがもち出してくる「共生」のような価値とは、その性格を異にしている」とあるが、その説明として最も適切なものを、次の中から一つ選び、答三ノ四の欄にマークせよ。

- ア…かわいいということばがさまざまな性質のものをとりこみ、国家にもその影響力が及ぶのであれば、異質な者どうしが一緒に生きることへの称揚とは位相が異なる、ということ。
- イ…かわいいということばが多く、矛盾や葛藤をかかえこみ、国家機構を構成する公務員にも葛藤が芽生えるのであれば、インテリが唱える、共に生きることの値打ちとは違ってくる、ということ。
- ウ…かわいいということばがその内部にいろいろな論理をあわせもち、国家の内側にも波及するのであれば、体系が異なる言語を話す者どうしが共に暮らすことの価値とは意味が違う、ということ。
- エ…かわいいということばが奥底に不気味な力を潜めており、国家にもその力が及んでくるのであれば、均質な共同体のなかで共同生活をするものかけがえのなさとは全く異なる、ということ。
- オ…かわいいということばが若い女性から高齢者まで平等にし、国家全体にその価値観が共有されるのであれば、知識人たちが一緒に生きる社会の価値観とは相容れない、ということ。

問三ノ五 傍線部3「消費者が消費するのは、現実からかけ離れた記号にすぎない」とあるが、その説明として最も適切なものを、次の中から一つ選び、答三ノ五の欄にマークせよ。

- ア…商品が飲食などの生理的な欲求に直結するものではなく、抽象化されたものになっているということ。
- イ…商品がリアルな猫のぬいぐるみなど現実を指し示すものではなく、仮想化されたものになっているということ。
- ウ…商品が実用的なものではなく、現実からかけ離れたマークやイラストなどになっているということ。
- エ…商品が記号体系を構成するだけのものになり、他の商品との差異のみを示すだけになっているということ。
- オ…商品が現実的な実体や特性をもたず、コンピューターの電子記号のなかにしか存在しなくなったということ。

問三ノ六 傍線部4「消費はより深く人間の実存に関わっている」とあるが、その説明として最も適切なものを、次の中から一つ選び、答三ノ六の欄にマークせよ。

- ア…消費社会における商品は記号体系を構成するだけになってしまっているが、それを消費するという行為において、人間はかろうじて生の実感を得ることができるということ。
- イ…人間はまったく無意味なものを消費するわけではなく、国民国家によって規範化されたコードにしたがい商品の記号を読み取って消費し、国民としての自己を確認できるということ。
- ウ…国境を越えて広がる消費文化のコードによって商品の記号を読み取って消費する時に、人間は自らの生の意味を問い、消費社会の中に生きる自己を再確認しているということ。
- エ…消費社会の中に生きている人間は、消費行動のための文化コードを身につけ、そのコードの中での消費のふるまいにおいて、自らの生の様式を確立していくということ。
- オ…消費文化のコードは国民国家と結びついておらず、国境を越えて広がっているので、そのコードを用いた消費によって、国家による制約を越えた生の実現が可能になるということ。

問三ノ七 空欄乙に入る表現として最も適切なものを、次の中から一つ選び、答三ノ七の欄にマークせよ。

- ア…女性の美的判断基準
- イ…サブカルチャーの仲間内の隠語
- ウ…国民国家のソフトな権力効果
- エ…国境を越えた生の存在理由
- オ…暴力を封印する秩序維持機構

問三ノ八 傍線部5「消費空間は、死を感じさせない。死が感じられない世界で、生物と無生物の区別もあいまいになる」とあるが、その説明として最も適切なものを、次の中から一つ選び、答三ノ八の欄にマークせよ。

ア…かわいいという形容詞で構成された消費社会の美意識においては、生きているかどうかを問わず、そう形容されることだけが存在価値の基準になってしまふということ。

イ…麻酔効果を持つかわいということばによって、時間感覚がなくなり、未来への希望を持つことが封印されてしまったため、未来を畏怖するようになってしまふということ。

ウ…簡単にはこわれない素材が支配する場所では、時間の流れがよくわからなくなり、生きているものの命を感じとるのも難しくなってしまうということ。

エ…匿名性が保証される消費の場においては、社会的な存在証明が要求されないために自分の生が実感できず、金銭を持つ可否だけが存在の証になってしまふということ。

オ…モノもヒトも形容できるかわいということばの秩序で暴力を封印した教室空間においては、身体を鍛錬することによってモノに近づいていってしまうということ。

四 次の文章を読んで、あとの問に答えよ。

通常の認識活動の根底には、無根拠が根拠となるメカニズムがいくつも潜んでいる。

ウィトゲンシュタイン^(注1)は、科学の営みを可能にする基礎概念は、扉の「蝶番」のようなものだという。たとえば、十九世紀までの物理学で光を伝える媒体として想定されていた「エーテル」のような概念は、当時の研究者が研究課題や理論を組み立てるための大前提だったが、それ自体の根拠はあたえられず、問いの対象となることさえなかった。ウィトゲンシュタインが「蝶番」とよぶのは、たとえば「エーテル」のような概念である。

部屋から出るとき、ドアノブやドアは目につくが、蝶番は意識されない。だが、蝶番がなければドアの開閉は不可能だ。おなじように、「われわれがたてる問題と疑問は、ある種の命題が疑いの対象から除外され、問いや疑いを動かす蝶番のような役割をしているからこそ成り立つ」。そのような概念や命題を、科学者は鵜呑みにするしかない。鵜呑みにされ、疑いの対象にはけっしてならないという意味で、こうした概念や命題は「確実」である。「科学的探求の論理の一部として、事実上疑いの対象とされないものがすなわち確実なものである……」とウィトゲンシュタインは言う。「ドアを開けようとするとき、蝶番は固定されていなければならない」のである。

フッサール^(注2)によれば、このように、無根拠の確実性にもとづいてはじめて成立するという点で、科学よりも基本的な経験である知覚もかわらない。

そのつどなにを知覚するかは、その場の周囲にある環境に依存する。おなじ、空を飛ぶ茶色い小さいものでも、多摩川縁で見ればサンカノゴイかもしれない、夕方の新宿歌舞伎町ならコウモリかもしれない、宇宙空間なら、『スターウォーズ』に登場する危険な宇宙寄生虫マイノックかもしれない。いかなる周囲環境で見たかによって、なにを見るかはかわる。

ところで、多摩川縁でサンカノゴイは珍しい鳥なので、一瞬見えた茶色いものが、本当にサンカノゴイかどうか、バードウォッチャーは能動的に確かめようとする。だが、その際、周囲が本当に多摩川かどうかを確かめる必要はない。もしなにかを確かめるために、その周囲環境（多摩川）をも確かめなければならないとすれば、本当に多摩川かどうかを確かめるために、多摩川の周囲環境をも確かめなければならない。ところが、多摩川の周囲環境を確かめるためには、さらにその周囲環境をも確かめなければならないのだから、結局、もともとの知覚対象を確かめるために、その周囲環境の周囲環境の周囲環境……を確かめなければならないという「無限遡行」に陥り、いつまでも知覚をはじめられないことになってしまう。

だが、実際には、だれも無限遡行に陥ることなく、現に知覚はなされている。それぞれの周囲環境についてはわざわざ確認するまでもなく、確実なものとして鵜呑みにしているからだ。サンカノゴイの確認が能動的におこなわれるのに対して、周囲環境は、能動的な確認行為なしに、あらかじめそこにある所与として受け入れられている。これをフッサールは「受動的先所与性」とよび、次のように述べる。「周囲環境は、いかなる能動的活動もないままに、つねにすでにそこにある。一群の受動的先所与性をあらゆる認識活動は前提する……。あらゆる認識活動には普遍的土台としての、そのつどの世界が先行している」。

周囲環境のことをフッサールは、「土台」としての「世界」とよぶが、土台としての世界は、検証や観察といった能動的認識活動の対象ではなく、認識活動一般の前提として「つねにすでに」与えられている。世界は検証されざる「根拠なき確実性」なのである。

土台としての世界は土工にとつての足場に似ている。建物を建てるとき、土工は、足場のうえで作業をするが、足場に注意を向けることはない。土台としての世界も同様である。だが足場と土台には大きな違いがある。足場は、組み立てられるとき、いったん注意の対象になるが、世界に関してそのような前段階はない。世界は「つねにすでに」与えられている。すなわち、世界があたえられる以前の状態や、あたえられる場に居合わせることは原理的にありえない。

ウィトゲンシュタインの蝶番、フッサールの土台、いずれも、科学や知覚が、無根拠の確実性にもとづく活動であることを示している。

一方、普遍的本質が虚構にすぎない以上、現在の「価値」からみれば、きわめておぞましく「非道德」なことが、やがて世界基準となる可能性は排除できない。それどころか、ニーチェ^(注3)〈以後〉の哲学においては悪もまたその場所を持つ。

すでにカント^(注4)は次のように述べていた。なるほど、民主主義国家（正確には「共和政」国家）を実現するのは容易ではないので、「天使だけにふさわしい国」とされ、「人間は利己的なので、このような崇高な体制にはむかない」と言われる。

だが、カントによれば、それは誤りである。むしろ、「悪魔でも〔民主的〕国家を樹立できる」。なぜか。悪魔とは「根源悪」、すなわち自分だけを例外とする傾向の権化だが、悪魔Aが自分だけ得しようとするときに、それによって損をする悪魔BがAを妨げる制度を作れば、結局、根源悪は実現しない。だれかが自分だけ例外とするのを妨げるには、「さまざまな力を競い合わせ、その均衡を」とればいいのである（カント「永遠平和のために」）。

こうして「個人としての心情においてはいかに対立しあっている、公的な行動においては、私情をたがいに抑制させ、悪しき心情などなかったかのようにふるまわせる」ことができる。たとえば、司法・立法・行政の三権分立では、それぞれの独走をほかの機関が制御する。間接民主制においては、多数派も議会において少数派と妥協しなければ、政策を実現できない。このように、「各人の傾向がもつ力をたがいに対抗させて、一つの力が別の力の破壊的なはたらきを阻止したり、なくしたりすることができるとような国家が組織される」のが民主制なのである。民主制においては、「道徳的に善くない人も、善き市民であることを強いられる」²。極端に言えば、悪がぶつかり合うことによって全体としては善が実現する。

悪魔と同様のことは人間にも当てはまる。カントの「森の比喩」は、それぞれの樹木が、少しでも多くの光と栄養と場所をえようとするために、かえって、真つ直ぐな木々からなる良質の森ができるという例だった。人間同士も同様だ。カントは、ひとびとに「協調性が欠け」、だれもが「たがいに妬み、争いを求める嫉妬心をそなえていること、けっして満たされることのない所有欲に、ときには支配欲にかられ……多くの悪が生まれる」³（カント「世界市民という視点からみた普遍史の理念」）ことを「非社交性」とよぶ。到底、望ましいものとは思えない非社交性だが、しかしカントによれば、「人間のうちに秘められたすべての傑出した自然の素質」が刺激され、花開くのは非社交性ゆえである。「すべての文化と芸術と……美しい社会秩序は、非社交性の成果である。非社交性は人間に、みずから規律を課すよう強制し、強制されて獲得した技を通じて、自然の萌芽を完

全に発展させる」(同)とカントはいう。

「規範から逸脱するもの」はかならず存在する。悪が望ましいわけではないが、しかし、悪が存在するということが自体は悪いことではない。なぜか。「多様な価値観の間で葛藤が生まれ、異質な意見がぶつかり合う中から新しい価値観が導かれる。もし同じ規範を全員が守るならば社会は変化しえず、このような停滞する社会は歴史を持ちえない」(小坂井敏晶『責任という虚構』)からである。

同じ規範や思考方法、価値を全構成員が共有することをめざした社会とは、すなわち近代社会である。ところが、実際には、その根底に多様で偶然的な⁵流動的自己形成態⁵があり、そこには、項同士の共振次第で、異質で規範を逸脱する存在、あるいは、悪も出現する。このように、邪悪な存在があるからこそ、それを実現させないシステムが登場し、異質なものがあからこそ、システムは維持可能である。⁶

(貫 成人「哲学で何をするのか」より)

(注1) ウィトゲンシュタイン(一八八九―一九五二)：イギリスで活動したウィーン生まれの分析哲学者。

(注2) フッサール(一八五九―一九三八)：ドイツの哲学者で、現象学の創始者。

(注3) ニーチェ(一八四四―一九〇〇)：ドイツの哲学者。二十世紀の哲学・文学・思想界に深い影響をもたらした。

(注4) カント(一七二四―一八〇四)：ドイツ観念論の出発点である批判哲学の創始者。

問四ノ一 傍線部1「世界は検証されざる、「根拠なき確実性」なのである」の説明として最も適切なものを、次の中から一つ選び、答四ノ一の欄にマークせよ。

ア…世界が前提としてあることで認識活動は成り立つが、そうした土台としての世界そのものは、疑われたり検証の対象になったりはしない。

イ…世界は認識活動の前提として「つねにすでに」与えられているが、そうした世界の先行性の根拠は検証されていないし、疑われることもない。

ウ…世界は確実なものとして鵜呑みにされ、認識活動の前提をなしているが、そのように土台となる世界が実際に存在するかどうかを確認する方法はない。

エ…認識活動の根底には、無根拠であることがむしろ根拠となり、疑いも検証も寄せ付けないような確実性としての世界がある。

オ…認識活動の前提としての世界が必要であるが、そうした世界が土台となって認識活動を支えているという事実が疑われたり検証されたりすることはない。

問四ノ二 傍線部2「悪がぶつかり合うことによって全体としては善が実現する」の説明として最も適切なものを、次の中から一つ選び、答四ノ二の欄にマークせよ。

ア…この世には絶対的な善など存在しないため、あらゆるものには悪の要素があるが、そうした要素どうしがぶつかりあって悪を構成する因子が中和されたり相殺されることで、最終的には民主的なかたちで善が実現する。

イ…個々の存在がそれぞれの利害に応じて行動するとき、いずれもが互いにとって悪となるが、それらがぶつかりあう過程で、私情を抑えて表面的には譲歩しあい、最悪の事態を回避するため、全体的には善の方向にむかう。

ウ…それぞれの傾向は他の傾向にとっては悪となるが、そうした異なる傾向が競いあうようにされている制度のなかで、ひとつの例外的な存在が破格の力を持つ事態が阻止され、均衡が保たれているという意味での善が実現する。

エ…自分だけを得をしようとし、そうした意味で悪の要素を色濃くはらんだ存在であっても、その種の根源悪どうしが相手の妨害をしあうことになる制度のもとでは、悪の部分が徐々に摩耗し、時間はかかるものの、最後には全体が善になる。

オ…ある特定の存在が絶対的な力を有して独走してしまうとき、それは他の存在にとっては悪となるため、独走する存在にそうした他の存在を対抗させ、自分だけを例外とさせないように抑制することで均整が生まれ、道徳にかなった善が実現する。

問四ノ三 傍線部3「人間のうちに秘められたすべての傑出した自然の素質」が刺激され、花開くのは非社交性ゆえである」の説明として最も適切なものを、次の中から一つ選び、答四ノ三の欄にマークせよ。

- ア…協調性はもちろん望ましいがとりあえず封印し、非社交性に徹して独自の道に進捗することで、人間は自己の可能性の探求を効率的におこなうことができるようになり、その結果、秘められていた傑出した素質が開花するに至る。
- イ…所有欲や支配欲にかられることはあまり望ましいことではないが、そうした欲を抑圧しないで放任することで、さまざまな知識や知見を求めるという傾向が育まれ、潜在的なままで眠っていた人間の自然の素質が開花してくる。
- ウ…文化や芸術が発展するのは、人間が既成概念に縛られず、たとえ一般常識からすると悪とみなされるようなことも排除せずに未開拓の領域に踏み込むときであり、それは、非社交性が人間の持つ傑出した自然の素質を開花させたことを意味する。
- エ…たがいを妬み、協調性に欠けるのは人間の理想的なあり方ではないが、そうした非社交性によって競いあうなかで、人間はみずからを律して鍛えざるをえなくなり、その結果として、それまで眠ったままだった自然の素質を開花させる方法を見出す。
- オ…支配欲や所有欲にかられたり、他人に対して嫉妬心を抱いたりするのはよいことではないが、非社交性のそうした悪い面を反面教師にしつつ、非社交性がもたらす競争原理の側面を活かすことで、人間のなかに秘められた自然の素質を開花させる可能性が生じる。

問四ノ四 傍線部4「悪が存在するということ自体は悪いことではない」の説明として最も適切なものを、次の中から一つ選び、答四ノ四の欄にマークせよ。

- ア…悪が存在するということは、精神のコントロールをはねかえすだけの強靱な力を人間が持ち、規範に反することもおこなう一方で、全体主義的な抑圧も覆せるということを示しているから。
- イ…悪が存在するということは、同じ共同体内に異なる複数の考え方が存在し、一方から見ると他方は悪となりうるといった一種の係争状態が起こり、社会にも変化が生じうることの証だから。
- ウ…悪が存在するということは、人間が新しい価値観を求め、旧来の価値観と相いれなくなる事態が生じうる可能性を生み出すわけであり、それは新旧交代がつねに起きていることから明らかにしているから。
- エ…悪が存在するということは、共同体としては協調性には欠け、人間どうしのあいだに妬みや争いが生じることを示す一方で、つねに競争が起きて進歩が続く近代社会として成り立っていることの証だから。
- オ…悪が存在するということは、さまざまな価値観がぶつかりあうなかで、新しい善の価値観が形成されたことを前提に、その反対概念として悪も生じてくるプロセスを示しているから。

問四ノ五 傍線部5「流動的自己形成態」は著者の造語であるが、その説明として最も適切なものを、次の中から一つ選び、答四ノ五の欄にマークせよ。

- ア…個々の行為が、因果関係を形成して社会的な秩序を生み出し、その秩序成立の流れに個人が身を委ねることで、共同体の構成員を束ねる構造がおのずと発生する過程のこと。
- イ…個々の行為がぶつかりあひながら新しい価値観を生み出し、それがまた個々の行為にフィードバックされた結果、各個人の自己がおのずから生成され、社会も変化していく過程のこと。
- ウ…個々の行為がその多様さゆえに葛藤を生じさせ、秩序を不安定にさせるが、葛藤のなかからおのずからひとつの価値観が生じ、その価値観に沿った歴史が形成されていく過程のこと。
- エ…個々の行為が結びつくという事態が偶然に生じ、その恣意的であつたはずの結びつきが必然となることで方向性が出来上がり、個々の存在の無根拠が根拠に転換されて、自己が形成される過程のこと。
- オ…個々の行為が、偶然の作用で社会的な秩序を生み出し、それがフィードバックされて個々の行為を規制するという循環が自己生成的に生まれ、あらたな構造が発生する過程のこと。

問四ノ六 傍線部6「異質なものであるからこそ、システムは維持可能である」とはどういうことか。著者の考えに即し、「文化」「芸術」「学問」「社会」のいずれかの領域から具体的な例（本文中の例を除く）を挙げて、一二〇字以上一八〇字以内で説明せよ。（解答は記述解答用紙の答四ノ六の欄に楷書で記入すること。その際、句読点、括弧記号などもそれぞれ一字分に数え、必ず「マス用いること」。）